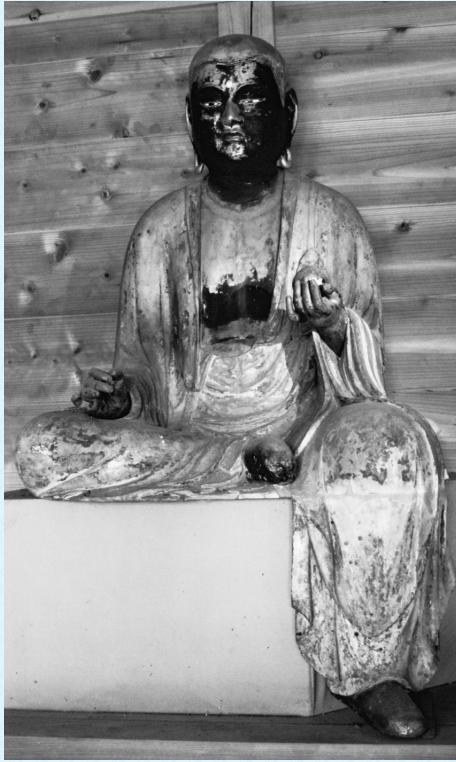


城里町の文化財さんぽ(三二)

町指定文化財(彫刻)

木造地藏菩薩半跏像

指定年月日/平成一六年五月七日  
所在地/城里町春園 管理・所有者/春園地区



地藏菩薩は、六道(地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天上)のすべての世界を巡り歩いて、苦しむ人々を救う菩薩です。その姿は、きらびやかな衣裳に身を包む他の菩薩像とは異なり、袈裟を着た僧侶の姿で表されます。日本人にとつては馴染み深い仏で、子育て地藏・延命地藏・刺拔地藏など、人々の願いに応じてさまざまな地藏像が造られています。

春園地区が管理する町指定文化財の「木造地藏菩薩半跏像」は、鎌倉時代後期に製作されたもので、頭部には玉眼が入り、左足を踏み下げた形で座る堂々とした体軀の半跏像です。胸前の左手には宝珠をのせ、膝の上に乗った右手は錫杖を持つような形をとっています。像高は約一〇七・五センチメートル、ヒノキ材による寄木造で、肉体部は金泥塗、衣部には彩色が施されています。本像は、平成一五年に県が実施した未指定有形文化財調査によつてその存在が明らかとなり、町の文化財に指定されました。解説文/町文化財保護審議会会長 小山映一

問合せ 教育委員会事務局  
☎029-1288-3135

俳句

山藪の翳りて紅葉なほ濃かり 飯村 昭子  
鯉淵 寿美恵  
葱坊主揺らして落とす今朝の霜 竹内 幸子  
仲田 まちゑ  
重き荷をひとつ降ろして枯野行 瀬谷 博子  
今瀬 多代美  
凍滝の膝打つごとく崩れけり 岩下 金司  
森 静江  
シクラメン老人ホームの華やげり 田口 勝元  
綿引 英子  
枯草の中を貫ぬく冬の川 寺門 孝子  
中野 千賀子

川柳

八溝山裾野に林檎村展け 飯村 昭子  
家はすぐその奥です密蜜柑 富田 多蔵  
竹内 幸子  
語らひは三人が良し石路の花 車田 綾子  
瀬谷 博子  
冬めくやショートステイの落葉かな 飯村 孝一  
岩下 金司  
日溜りに身を寄せあうも冬構え 川原 清  
寒卵一合めしの炊き上がり 寺門 孝子



文芸しろさと

短歌

亡き夫の氣配覚ゆる時のあり暮れゆく一日神無月逝く 大森 久子  
夕さりて家々に灯の点りゆく家族の集ふやさしき時を 渡辺 千紗子  
この年も枇杷のたわわに実りたり先づ初物を佛前に供ふ 所 美恵子  
新しき年のはじめは楽しかりわれ生き生きと日日をすごさむ 山形 式妙

個人ブレードだから他人にはめいわくをかせずに楽しむグラウンドゴルフ 杉山 みちこ  
寺までの長き参道おしみなく散りくる紅葉の中を歩みぬ 枝 不美  
夕ぐれて風なき庭にはらはらといふ大樹は黄葉を落しぬ 島 愛子  
雨あがり暮れなすむ空にくっつきりと雪をかぶりし富士を仰ぎぬ 信田 育子  
亡き夫の書きし電話の番号は生の足跡かき残し置く 坪井 きよ子  
古稀過ぎて三十年ぶりの同窓会亡き友らへの黙祷捧ぐ 萩谷 登喜子

吹き寄する細水の陽にきらめきて那須野が原に初雪の朝 おめでとう誕生日だね孫も子も祝いの言葉嬉しき佳き日 富田 佐智子  
揆撈は強い味方に変わります人に優しく自分に強く 藺部 光子  
富田 欽子

